

施策評価シート(令和4年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり	施策主管課	健康ふくし課
	施策No.	3-1	施策名	保健体制の充実と医療の確保	施策主管 課長名	平山 正孝
関係課	健康ふくし課					

1. 施策の目的

対 象	A 地域	意 図	A 健康づくりの輪が広がっている
	B 町民		B 健康や病気予防の知識と意識が高まり、日頃から健康づくりに取り組んでいる

2. 成果指標

指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 保健体制の充実と医療の確保に関する満足度 (増加) (現状値: H28-30平均)	%	78.6	81.5	81.9	82.2	82.5	82.7
				81.3	75.6			
②	B 特定健康診査受診率(増加) (現状値: H30 時点)	%	51.2	58	59.2	60	61	62
				52.8	52.2			
③								
④								

3. 指標の分析(成果が向上した、またはしなかった理由)

①	令和3年度と比較すると5.7ポイント減少した。要因として、「母子の健康づくり」と「こころの健康づくり」の不满等割合が令和3年度と比較すると4.6ポイント高くなっていることから、新型コロナウイルス福島県感染拡大警報期間中の開催中止などによる影響と考えられる。
②	特定健康診査受診率向上のため、個別の受診勧奨及び広報紙やホームページ等による周知と、感染防止対策を講じて受診しやすい環境を整備したが受診率は0.6ポイント下がった。これは、新型コロナウイルス感染拡大における第7波の時期と、集団健診が重なったことが影響したと考えられる。
③	
④	

4. 課題に対する取組(今年度重点的に取り組んだ課題)

<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度特定保健指導実施率(速報値)は49.3%で、令和3年度から9.8ポイント向上した。重症化予防指導では、令和3年度48人に対し令和4年度は99人多い147人に実施した。 健診受診率向上のため、集団健診の前、集団健診未受診者へ施設健診の受診勧奨、再勧奨を行った。

5. 次年度の方向性(施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題)

<p>特定保健指導(重症化予防含む)の継続実施に加え、特別保健指導(頻回、重複受診)も実施し、保健師による個別指導の実施回数増加を目指す。特定健康診査受診率向上へ、健診未受診者の特性に応じた健診広報と啓発、受診勧奨を継続して行う。その中で、次年度はさらに持病で通院しているが健診を受けない方への受診勧奨を行う。</p>

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和4年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4419	後期高齢者健診事業	9,844	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	4555	感染症対策事業	51,713	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	4789	健診等事業	51,513	拡充	現状維持	②生産性改善	○
4	5011	保健センター管理事業	4,052	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	5065	特定健康診査等事業	27,108	拡充	現状維持	②生産性改善	○
6	5663	人間ドック助成事業	9,003	拡充	現状維持	②生産性改善	○
7	5716	国民健康保険事業	216,623	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
8	16561	新型コロナウイルスワクチン接種事業	200,678	現状維持	縮小	③効率性改善	
9	16715	後期高齢者医療保険事業	335,055	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
10	16731	国民年金事業	51	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
11	17169	健康づくり推進事業	44	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
12	17170	母子保健事業	27,262	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
13	17171	地域医療整備事業	49,749	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
14	17172	食育事業	110	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
15	17173	精神保健事業	190	現状維持	現状維持	⑤現状維持	